

2024年度 北見藤高等学校シラバス

【教科】 【科目】	【数学】【数学B】	3年	3単位	教科書	最新数学B	副教材等	履修対象・ 使用教室 等	3年4組
教科・ 科目 の 目標	(1) 数列, 統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに, 数学と社会生活の関わりについて認識を深め, 事象を数値化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。 (2) 離散的な変化の規則性に着目し, 事象を数学的に表現し考察する力, 確率分布や標本分布の性質に着目し, 母集団の傾向を推測し判断したり, 標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力, 日常の事象や社会の事象を数値化し, 問題を解決したり, 解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。 (3) 数学の良さを認識し数学を活用しようとする態度, 粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度, 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。							
評価 の 観点	知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度				
	数列, 統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに, 数学と社会生活の関わりについて認識を深め, 事象を数値化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。	離散的な変化の規則性に着目し, 事象を数学的に表現し考察する力, 確率分布や標本分布の性質に着目し, 母集団の傾向を推測し判断したり, 標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力, 日常の事象や社会の事象を数値化し, 問題を解決したり, 解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。		数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度, 粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度, 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。				
評価 方法	* 単元などの授業内容のまとまりごとに「評価の観点」に基づいた観点別評価を行い, [A:「十分満足できる」状況 B:「概ね満足できる」状況 C:「努力を要する」状況]とする。 * 単元などの観点別評価に基づいて, 学習全体の総括的な評価を行ったものを「5段階の評定」とする。							
評価 資料 ・ 評価 比重 (100点換 算)	評価資料等	予定回数・内容等			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	単元テスト	節ごとに実施予定。(計5回)			50	50		
	レポート	演習時に課される課題。			50	50		
	授業態度	授業時間における話を聞く姿勢や問題演習への取り組み。					100	
		〔観点別配分%〕			〔3観点の比重を%で示しています〕			
月進行 【計画】	【単元名】 学習項目名	配当 時間 【計画】	学習内容・目標 (到達点) など			主な評価資料		評価の重み付け〔◎〕
4 5	【数列】数列とその和		簡単な数列とその和について理解し, それらを事象の考察に活用できるようにする。	単元テスト	○	○		
				レポート	○	○		
				授業態度			◎	
6 7	【数列】漸化式と数学的帰納法		漸化式と数学的帰納法について理解し, それらを事象の考察に活用できるようにする。	単元テスト	○	○		
				レポート	○	○		
				授業態度			◎	
8 9	【統計的な推測】確率分布		確率変数とその分布について理解し, それらを不確定な事象の考察に活用できるようにする。	単元テスト	○	○		
				レポート	○	○		
				授業態度			◎	
10 11	【統計的な推測】確率分布 【統計的な推測】統計的な推測		確率変数とその分布について理解し, それらを不確定な事象の考察に活用できるようにする。 統計的な推測について理解し, それを不確定な事象の考察に活用できるようにする。	単元テスト	○	○		
				レポート	○	○		
				授業態度			◎	
12 1	【統計的な推測】統計的な推測 【数学と社会生活】		統計的な推測について理解し, それを不確定な事象の考察に活用できるようにする。 社会生活などにおける問題を, 数学を活用して解決する意義について理解するとともに, 日常の事象や社会の事象などを数値化し, 数理的に問題を解決する方法を知る。	単元テスト	○	○		
				レポート	○	○		
				授業態度			◎	
2 3	家庭学習期間							
学習の アドバイス								